

令和2年度 千葉県奨学生募集

☆千葉県では、高等学校等に在学中、経済的負担を軽減し安心して学習できるように、奨学資金の貸付け（無利子）を行っています。

【申請方法】	在学する学校で申請します。 申請に必要な書類については奨学金担当の先生に相談してください。
【資格】	①保護者が千葉県内に住所を有する者。 ②修学意欲があり、かつ、性行が正しい者。 ③経済的理由により修学が困難な者（以下の【経済基準】を参照）。 ④「母子及び父子並びに寡婦福祉資金（修学資金）」の貸付けを受けていない者。
【経済基準】	親権者の収入金額の合計が、千葉県教育委員会の定める収入基準額以下であること。 （以下の〔収入・所得の目安表〕参照）

〔収入・所得の目安表〕

- ※ 給与所得の場合は収入金額（税込み）、営業等所得の場合は収入金額から必要経費を引いた金額。
- ※ 収入は、親権者（父母。父母がいない場合は代わって家計を支えている人）の収入の合計。
- ※ 4人世帯の場合、父母・本人・中学生の世帯を想定して算出。
5人世帯の場合、父母・本人・中学生・小学生の世帯を想定して算出。（単位：万円）

区分		平成29年度以降入学者	
		国公立	私立
給与収入	4人世帯	665	735
	5人世帯	784	882
営業等所得	4人世帯	291	340
	5人世帯	376	474

【貸付条件】	連帯保証人（親権者）のほかに保証人（別生計の成年者）が必要です。
【貸付月額】	下表から希望額を選んでいただきます。貸付期間中に変更することも可能です。

区分	自宅通学		自宅外通学	
	国公立	私立	国公立	私立
貸付月額	10,000 円	10,000 円	15,000 円	15,000 円
	20,000 円	20,000 円	25,000 円	25,000 円
		30,000 円		35,000 円



【貸付期間】	令和2年4月分から正規の修学期間が終了するまで。
【貸付方法】	生徒本人名義の口座に原則として毎月振り込みます。 ※初回貸付けは審査終了後、4月分から貸付決定月分までを振り込みます。
【返還方法】	貸付終了月の翌月から据置期間（6か月）経過後、規定の年数以内（10～14年）で月賦、半年賦又は年賦の均等払方式（無利子）により返還していただきます。
【返還猶予】	大学等に進学、又はその準備中の場合は、その期間返還を猶予する制度があります。 （大学等進学の場合：正規の修学期間。大学等進学準備中の場合：年度更新で通算5年まで） ※一定の収入（例：給与所得の場合、年間収入金額230万円）を得るまでの間も、返還を猶予できます。

※返還猶予は「減免（免除）」ではありません。

※返還猶予は申請が必要です。卒業後、自動で猶予されるものではありません。

申請期限は、令和2年 月 日（ ）です。

家計急変世帯への千葉県奨学金の貸付について

☆千葉県では、高等学校等に在学中、経済的負担を軽減し安心して学習できるように、奨学資金の貸付け（無利子）を行っています。

☆新型コロナウイルス感染症等により家計が急変し奨学資金の貸付けが必要となり、一時的に貸付を受けたい場合（下記、貸付期間参照。）には、貸付申請を随時受け付けていますので、まずは学校に御相談ください。

【申請方法】

在学する学校で申請します。
申請に必要な書類については奨学金担当の先生に相談してください。

【資格】

- ①保護者が千葉県内に住所を有する者。
- ②修学意欲があり、かつ、性行が正しい者。
- ③勤務先等が被災したことで、失業又は減収等により経済的に修学困難となった方
- ④災害により奨学生本人の自宅が被害を受けた方

【経済基準】

親権者の収入金額の合計が、千葉県教育委員会の定める収入基準額以下であること。
※被災により一時的に減収となった場合でも貸付けが可能です。

【貸付条件】

連帯保証人（親権者）のほかに保証人（別生計の成年者）が必要です。

【貸付月額】

下表から希望額を選んでいただきます。貸付期間中に変更することも可能です。

区分	自宅通学		自宅外通学	
	国公立	私立	国公立	私立
貸付月額	10,000 円	10,000 円	15,000 円	15,000 円
	20,000 円	20,000 円	25,000 円	25,000 円
		30,000 円		35,000 円

【貸付期間】

初回貸付月分から令和3年3月分まで。
※令和3年4月以降も貸付継続を希望する場合は再度申請が必要です。

【貸付方法】

生徒本人名義の口座に原則として毎月振り込みます。
※初回貸付けは審査終了後、令和2年4月分から貸付決定月分までを振り込みます。

【返還方法】

貸付終了月の翌月から据置期間（6か月）経過後、規定の年数以内（10～14年）で月賦、半年賦又は年賦の均等払方式（無利子）により返還していただきます。

【返還猶予】

大学等に進学、又はその準備中の場合は、その期間返還を猶予する制度があります。
（大学等進学の場合：正規の修学期間。大学等進学準備中の場合：年度更新で通算5年まで）
※一定の収入（例：給与所得の場合、年間収入金額 230 万円）を得るまでの間も、返還を猶予できます。

※返還猶予は「減免(免除)」ではありません。

※返還猶予は申請が必要です。卒業後、自動で猶予されるものではありません。

第三号様式（第二条の二及び第三条）

奨学資金貸付申請書

年 月 日

千葉県教育委員会（千葉県立———学校長）様

各自自署

申請者

㊟

連帯保証人

㊟

保証人

㊟

千葉県奨学資金の貸付を受けたいので、千葉県奨学資金貸付条例第6条の規定により申請します。

フリガナ		生年月日		学 校 名			
氏 名		年 月 日生 (満 歳)		※ 立 全日制 私 立 ※定時制 学校 通信制			
※自宅・学寮・下宿・その他（親戚宅・知人宅・） 本人現住所 〒				学 年 (入 学 年 度)			
TEL				第 学年 (入 学 年 度 年 度)			
連帯保証人現住所 〒				TEL			
保証人現住所 〒				TEL			
TEL				総 収 入 額			
家 族	続柄	氏 名	年齢	職業	勤務先	年収(税込)	千円
	①父		歳			千円	
	②母		歳				
	③本人		歳				
	④		歳				
	⑤		歳				
	⑥		歳				
	⑦		歳				
奨学希望 資金理由	(具体的に記入すること。) ※生徒本人が自筆で記入すること。						
奨学資金の希望月額			国・公立学校		私立学校		
			※1万円・2万円		※1万円・2万円・3万円		
自宅外単価の適用希望の有無					※ 有・無		
奨学資金の低所得世帯加算希望の有無（国・公立学校2万円希望者のみ）					※ 有・無		

※印のところは、該当のものを○で囲むこと。

「奨学資金貸付申請書」記入例

奨学資金貸付申請書

令和2年 4月 8日

千葉県教育委員会 (千葉県立 学校長)

千葉県立学校の場合は、() 内に
学校名を記入。
※その他の学校の場合は記入不要。

申請者：生徒本人
連帯保証人：保護者
保証人：申請者・連帯保証人と別生計の成年者
が必ず自筆で署名し、捺印する。
全て違う印影であること。スタンプ印は不可。

千葉県奨学資金の貸付を受けたので、千葉県奨学資金貸付条例第8条の規定により申請します。

フリガナ	千葉太郎	生年月日	平成16年 7月 1日生 (満15歳)	※ 私立	学校名	OO学園高等 学校
氏名	千葉太郎	学年	第1学年 (入学年度はR2年度)	※ 全日制 ※定時制 ※通信制	学校	OO学園高等 学校
本人現住所	※自宅 学寮・下宿・その他(親戚宅・知人宅・) 〒260-8662 千葉市中央区市場町1-1					
連帯保証人現住所	〒260-8662 千葉市中央区市場町1-1					
保証人現住所	〒261-0014 千葉市美浜区若葉2-13					
続柄	氏名	年齢	職業	勤務先	年収(税込)	
①父	千葉一郎	48歳	会社員	千葉商會(株)	5,017千円	
②母	千葉花子	43歳	パート	(株)千葉マート	800	
③本人	千葉太郎	15歳				
④弟	千葉次郎	12歳	学生			
⑤						
⑥						
(具体的に記入すること。)						
奨学資金希望額	学業や部活を頑張っていきたいが、経済的に修学が困難であるため奨学資金の貸付を希望します。					
卒業後は、次の奨学生のために、計画通り返還していきます。						
奨学資金の希望月額	国・公立学校 ※1万円・2万円 私立学校 ※1万円・2万円 (3万円)					
自宅外単価の適用希望の有無	※有(無)					
奨学資金の低所得世帯加算希望の有無(国・公立学校2万円希望者のみ)	※有(無)					

生徒本人の住所について、
該当するものに○

住民票の住所と実際の住所が異なる
場合は、実際の住所を記入
※電話番号は市外局番から
電話番号は日中でも連絡が取れるもの
(携帯番号等)をお願いします。

希望する貸付月額を選択

令和2年度入学の場合、学年は「第1学年」、
入学年度は「R2年度」。

親権者の収入の合計を記入。
5,817千円

同一生計の場合、家族欄に記入
(同居・別居は問わない)
※別居の場合、余白に(別居)と記載する。
※同居でも別生計の方は記入しない。

生徒本人が家計状況、修学意欲、返還意志等を具体的に
記入すること。
注) 保護者の記入欄ではないので、必ず生徒本人が
記入する。

・自宅外単価：自宅外から通学している生徒のみ可
・低所得世帯加算：国公立学校に在籍し、貸付月額
2万円を希望している者のみ希望可
※追加で審査資料の提出が必要となる
※希望しない(または該当しない)場合は「無」に○

※印のところは、該当のものを○で囲むこと。

獎學資金受領口座出書

千葉県教育委員会(千葉県立—————学校長) 様

電話番号

区 分 (該当区分に○を付す)	新 規 ・ 変 更								
金融機関名・ 店 舗 名	銀行 支店 (ゆうちょ銀行の支店名は「〇五九」、「〇三八」など)								
預金種目 (該当種目に○を付す)	1 普 通	口座番号							
	2 当 座								
口座名義人 (カタカナ) 左詰で上段から記入									

- 1 奨学資金の受領口座は、学校長に委任する場合を除き、奨学生本人名義の口座とすること。
- 2 成人者が提出する場合、連帯保証人の記載は省略可能とする。
- 3 通帳の写し等、口座番号が確認できるものを添付すること。

貸 付 番 号								

第四号様式（第五条）

誓 約 書

年 月 日

千葉県教育委員会（千葉県立_____学校長）様

自署

住 所

奨 学 生 氏 名

電話番号

⑩

自署

住 所

連帯保証人 氏 名

電話番号

⑩

自署

住 所

保 証 人 氏 名

電話番号

⑩

私は、千葉県奨学資金貸付条例の規定に従い、誠実に義務を履行することを誓約します。

貸 付 番 号

--	--	--	--	--	--	--	--	--

「奨学資金受領口座届出書」記入例

第4号様式 (第10条)

奨学資金受領口座届出書

令和2年 4月 8日

千葉県教育委員会 (千葉県立) 学校長) 様

千葉県立学校の場合：学校名を記入
その他の学校の場合：記入不要

住所 千葉市中央区市場町1-1
奨学生氏名 千葉 太郎 (千葉) 印
電話番号 043-223-4027
住所 千葉市中央区市場町1-1
連帯保証人氏名 千葉 一郎 (千葉) 印
電話番号 080-XXXX-XXXX

奨学生：申請する生徒本人
連帯保証人：申請書の連帯保証人と同一の方が、それぞれ必ず自分で署名・捺印すること。全て違う印影であること。スタンプ印は不可。

千葉県奨学資金貸付金の受領口座を、以下のとおり届け出ます。

区分 (該当区分に○を付す)	新規	変更
金融機関名・ 店舗名	〇〇 銀行 〇〇〇 支店 (ゆうちょ銀行の支店名は「〇五九」、「〇三八」など)	
預金種目 (該当種目に○を付す)	1 普通 2 当座	口座番号 0 1 2 3 4 5 6
口座名義人 (カタカナ) 左詰で上段から記入	チ ハ ・ タ ロ ウ	

記載する口座について、これまでに千葉県教育委員会へ届け出たことがない場合、新規に○を付す。

奨学生本人の口座を指定すること。
口座情報の確認のため、通帳等のコピー
(銀行名・支店名・口座名義・口座番号等のわかる部分)を添付すること。

注

- 1 奨学資金の受領口座は、学校長に委任する場合を除き、奨学生本人名義の口座とすること。
- 2 成人者が提出する場合、連帯保証人の記載は省略可能とする。
- 3 通帳の写し等、口座番号が確認できるものを添付すること。

「奨学生決定通知書」受領後に提出する場合：
決定通知に記載の貸付番号を転記
申請書と同時に提出する場合：記入不要

貸付番号

「誓約書」記入例

第四号様式 (第五条)

誓 約 書

令和2年 4月 8日

千葉県教育委員会 (千葉県立) 学校長) 様

千葉県立学校の場合：学校名を記入
その他の学校の場合：記入不要

住所 千葉市中央区市場町1-1
奨学生氏名 千葉 太郎 (千葉) 印
電話番号 043-223-4027
住所 千葉市中央区市場町1-1
連帯保証人氏名 千葉 一郎 (千葉) 印
電話番号 080-XXXX-XXXX
住所 千葉市美浜区西笠2-13
保証人氏名 市場 栄 (市場) 印
電話番号 043-000-0000

奨学生：申請する生徒本人
連帯保証人：申請書の「連帯保証人」と同一の方
保証人：申請書の「保証人」と同一の方
の署名・捺印
※それぞれ該当する方が自分で署名・捺印すること。

私は、千葉県奨学資金貸付条例の規定に従い、誠実に義務を履行することを誓約します。

「奨学生決定通知書」受領後に提出する場合：
決定通知に記載の貸付番号を転記
注：「予約奨学生決定通知書」ではありません。
申請書と同時に提出する場合：記入不要

貸付番号

※本書は収入が確認できる書類が提出できない場合に作成してください

収入に関する副申書

年 月 日

千葉県教育委員会 様

学校長 印

下記申請者に関する収入状況が以下のとおりであることを確認しましたので、本副申書により収入証明書として取扱い願います。

記

学 校 名	学校 第 学年 在学
申 請 者	住所 〒 フリガナ 氏名
本副申書の対象となる 家計支持者① (申請者との続柄)	住所 〒 フリガナ 氏名 続柄 ()
本副申書の対象となる 家計支持者② (申請者との続柄)	住所 〒 フリガナ 氏名 続柄 ()

収入状況

↓該当するものに☑してください。

- ☐ 上記の家計支持者 () が現在、無職・無収入の状態であることを確認しました。
※該当するものに○

退職 ・ 就職活動中 ・ その他の理由 ()

- ☐ その他収入について、事情により金額の分かる書類が添付できませんが、収入金額は以下のとおりであることを確認しました。

(1) 収入の種類
(2) 状況
(3) 収入(見込み)金額
※何を、どこから、いつから、金額など、具体的に記入すること

(注) 生活保護受給金額、各種年金等の受給金額については本副申書によらず、別途証明書類を提出してください。